

各学校給食実施方式

自校調理方式

奈良市の主な学校給食調理実施方式としては、各学校に給食室を設置し、調理・配食をする自校調理方式を採用しています。

給食室の運営については、奈良市職員である調理員が調理する直営方式と、民間業者に委託し業者が調理する委託方式があります。

奈良市の中学校では、興東中学校が直営方式で調理しています。

センター調理方式

平成17年に旧月ヶ瀬村、旧都祁村と合併しました。両村の給食調理方式は、給食センターで調理し、それぞれの学校に配送していました。

合併し奈良市となってからもこの方式を継続しています。

月ヶ瀬学校給食センターの担当校

月ヶ瀬中学校、月ヶ瀬小学校

都祁学校給食センターの担当校

都祁中学校、並松小学校、都祁小学校、吐山小学校、六郷小学校

親子調理方式

既存の小学校給食室で調理した給食を、給食施設を持たない中学校に配送する方式です。給食室のある学校が[親]になります。

(直営) 田原小学校 ⇒ 田原中学校

(直営) 柳生小学校 ⇒ 柳生中学校

(委託) 富雄第三小学校 ⇒ 富雄第三中学校

デリバリー方式

(弁当の提供) 奈良市では、親子のぬくもりを大切に「家庭からの弁当」の教育効果を生かしつつ、弁当を持参出来ない生徒に栄養バランスに配慮した食事を提供することを目的に、平成18年度から弁当業者が調理し各中学校に配送するデリバリー方式を採用しています。

平成18年2校、平成19年4校、平成20年5校、計11校で実施しています。

平成18年 2校

都南中学校、飛鳥中学校

平成19年 4校

三笠中学校、京西中学校、二名中学校、平城東中学校

平成20年 5校

若草中学校、登美ヶ丘中学校、平城西中学校、平城中学校、
登美ヶ丘北中学校

給食等の未実施

5校 春日中学校、都跡中学校、伏見中学校、富雄中学校、富雄南中学校